

三菱UFJ 純金ファンド 〈愛称: ファインゴールド〉 足下の金価格上昇の背景と今後の見通し等について

平素より、「三菱UFJ 純金ファンド 〈愛称: ファインゴールド〉」をご愛顧いただき、厚く御礼申し上げます。
本レポートでは、足下の金価格上昇の背景と今後の見通しを中心に、当ファンドを通じた金への投資についてQ&Aでご説明いたします。

長期でみる金価格の推移

金価格(米ドルベース)は、1980年代から約20年間おおむね横ばいで推移した後、2000年以降上昇基調に転じ、2011年8月には当時の高値をつけました。その後、需要減少に伴い下落基調となりましたが、2018年頃から再び上昇基調となり、2020年7月には市場最高値を更新しました。

金価格(米ドルベース)の推移



Q&Aで説明!! 本レポートの内容

- Q1. 足下の金価格上昇の背景と、今後の見通しについて教えてください。 …P2
- Q2. 金には、どのような性質がありますか。 …P4
- Q3. 金の需要には、どのようなものがありますか。 …P5
- Q4. 金には、分散投資の効果が期待できますか。 …P6
- Q5. 金を現物で保有する場合と当ファンドで保有する場合との違いを教えてください。 …P7
- Q6. 当ファンドは、金価格と連動していますか。 …P8

- 三菱UFJ国際投信 ON AIR (動画チャンネル) -

金に投資するって?

YouTube

動画はこちら→



・動画は、一定期間経過後に削除することがあります。

・金価格は、スポット価格を使用しています。

・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

三菱UFJ 純金ファンド 〈愛称:ファイナゴールド〉

Q1

A1

足下の金価格上昇の背景と、今後の見通しについて教えてください。

価格上昇の主な要因は、世界的な超低金利により金の魅力が相対的に高まったことや、米中関係等投資環境の不透明感が強まったためと考えています。今後も、超低金利の継続と投資環境の不透明感の解消が見込めない等の理由により、中長期で金価格は上昇しやすい環境が続くと見込まれます。

足下の金価格上昇の背景

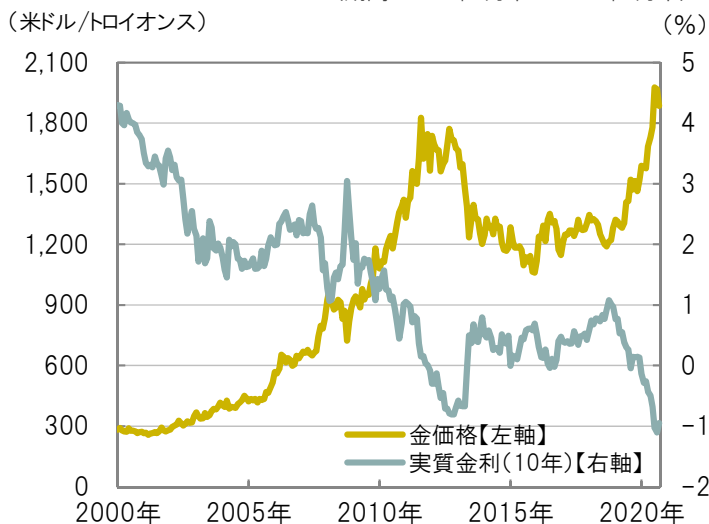
- ① 超低金利環境
- ② 投資環境の不透明感

① 超低金利環境

- 2000年以降これまでの動きを見ると、金価格と米国実質金利(10年)には逆相関の関係がみられました。実質金利は名目金利から市場が予想する将来のインフレ率(期待インフレ率)を除いて算出します。2000年以降、名目金利が低下傾向にあったことに加え、2020年9月末時点では、名目金利よりも期待インフレ率が高くなったため実質金利は足下マイナス圏まで下がりました。一方、金価格は2013年付近で調整する局面も見られましたが2000年以降おおむね上昇傾向にあります。2020年9月末時点では、期待インフレ率がある程度あることで物価上昇を通じた金価格の上昇が見られたと考えています。
- 金には金利が付与されないため、金利が上昇すると相対的に魅力は低下します。2000年以降の債券市場をみると利回りは低下傾向にあり、10年国債の利回りは2020年9月末時点で米国でさえも1%を割り込む状況で、債券の利回りに対する魅力は低下しています。また現在は、投資環境が不透明であることも加わり、金利が付与されなくても信用力のある金を選考されたと考えることができます。

金価格と米国実質金利(10年)の推移

(期間:2000年1月末~2020年9月末)



各国の10年国債利回りの推移

(期間:2000年1月末~2020年9月末)



(出所)Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

・金価格は、スポット価格を使用しています。

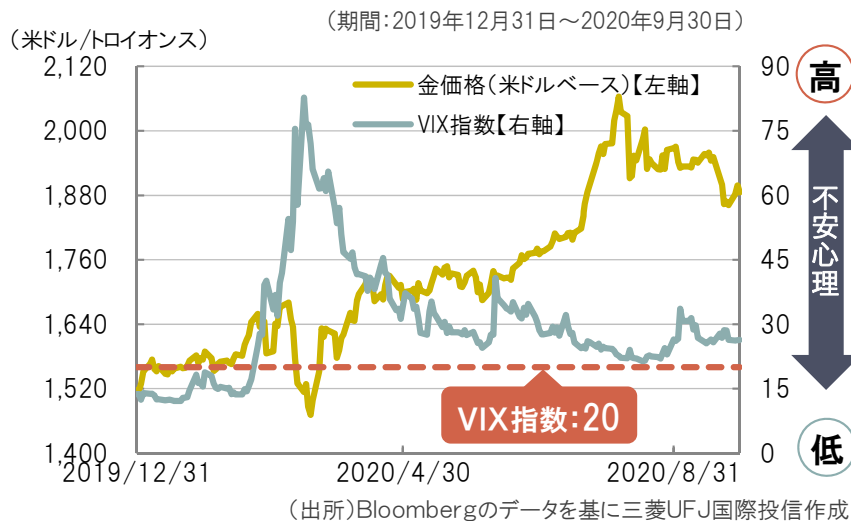
・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

三菱UFJ純金ファンド〈愛称:ファインゴールド〉

② 投資環境の不透明感

- 金は「有事の金」とも言われることがあるように、国際情勢が悪化し金融市場で不安が台頭するような局面において、資金の逃避先として注目を浴びる傾向があるとされています。米中貿易摩擦や新型コロナウイルス感染症(以下、新型コロナ)の感染拡大の影響により、不透明な投資環境が続いており、その結果安全な実物資産とされる金への注目が集まっていると考えられます。

金価格とVIX指数の推移



- VIX指数とは、「ボラティリティ(変動)インデックス」の略称で「恐怖指数」とも呼ばれています。投資家の心理を表す指標として利用されており、相場下落や先行きの不透明感が高まるなど投資家心理の悪化に連動して上昇する傾向があります。
- 一般的にはVIX指数が20を超えると通常より不安心理が高まっていると解釈されます。新型コロナの感染拡大の影響が懸念された2020年1月下旬には指数が上昇し2020年9月末時点においても20を下回りません。一方、金は不安心理が高まった場面では一旦下落しましたが、落ち着きを取り戻した場面では資金の逃避先として好感され、価格は上昇に転じています。

今後の見通し

今後も、金価格が上昇しやすい環境が続くと考えられます。

- 世界的な超低金利環境は、今後も続くことが予想されます。
- 新型コロナの世界経済への影響を和らげるためにも、当面は緩和的金融政策(通貨供給)が引き締めへ転じるとは考えにくい状況です。また、米中貿易摩擦等を中心とした先行き不透明感は今後も継続するとみられることから、金の相対的な魅力は継続すると考えています。
- 過去の金価格は上昇時に、底値から高値まで大きく上昇しました。2015年12月から2020年9月までの上昇率は78%です。

〈ご参考〉 金価格の推移と過去における底値から高値までの上昇率



(金価格:米ドル/トロイオンス)		
年月	金価格	上昇率
① 1970年1月	34.94	
② 1974年12月	183.85	426%
③ 1976年8月	104.00	
④ 1980年9月	666.75	541%
⑤ 1999年8月	255.68	
⑥ 2011年8月	1,825.55	614%
⑦ 2015年12月	1,061.10	
⑧ 2020年9月	1,885.82	78%

(出所)Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

・金価格は、スポット価格を使用しています。

・上記は指数(米ドルベース)を使用しています。指数については【本資料で使用している指数について】をご覧ください。

・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

三菱UFJ 純金ファンド 〈愛称:ファインゴールド〉

Q2

金には、どのような性質がありますか。

A2

金は、実物資産であり、希少性が高く、米ドルの代替資産とも言われています。

① 実物資産

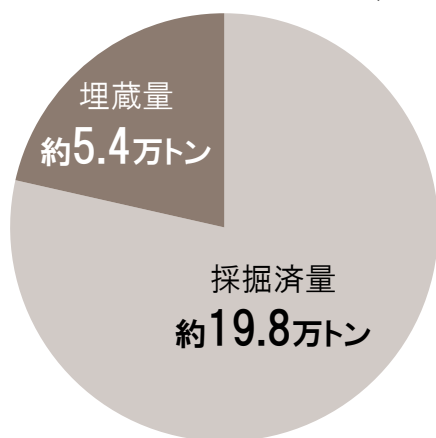
- 金は現物自体に価値がある実物資産です。
- そのため、金は不確実性が高まる局面で選好されやすく、またインフレに強い(物価上昇により貨幣価値が低下する局面で価格が上昇する)傾向があると考えられます。

② 限られた供給量:希少性

- 金は供給量が限られています。2019年末現在、採掘された金の総量は約19.8万トン(五輪プール4杯分相当)、地球に埋蔵されている金は約5.4万トンで、その多くが採掘困難な場所にあるといわれています。
- 2019年の金の供給内訳のうち、採掘済量(鉱山生産)は全体の約70%にあたる3,531トンで、約30%にあたる1,296トンはリサイクル金でまかなわれました。
- 金は需要が増えても供給量は限られています。

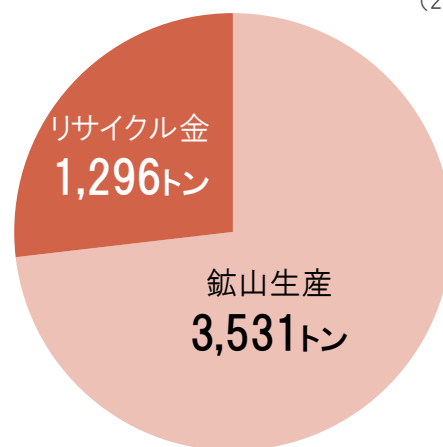
金の採掘済量と埋蔵量

(2019年末時点)



2019年の金の供給内訳

(2019年)



(出所)World Gold Councilのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

③ 米ドルの代替資産

- 2010年8月末から2020年9月末までの金価格(米ドルベース)と米ドル(対円)には、逆相関の関係がみられました。これは、金が実物資産であるのに対し、米ドルは株式や債券などのリスク資産との正の相関が強く、リスクが取られる際に買われやすい傾向があるため、金は米ドルの代替資産と言われるようになりました。
- 金は米ドルが強く(米ドル高)なると売られ、米ドルが弱く(米ドル安)なると買われる傾向が見られました。

・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

金価格(米ドルベース)と米ドル(対円)の相関係数

(期間:2010年8月末~2020年9月末)

-0.51

(出所)Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

・金はスポット価格です。・月次騰落率の相関係数です。
 ・計測期間が異なる場合は、結果も異なる点にご注意ください。

- 相関係数は値動きの連動度合を表す統計学上の計数で-1から1までの値で表されます。1に近いほど相関が高く(似たような動き)、-1に近いほど逆相関(反対の動き)となります。

三菱UFJ 純金ファンド 〈愛称:ファインゴールド〉

Q3

金の需要には、どのようなものがありますか。

A3

金の需要は大きく4つに分けられ、その中でも足下ではETFなどによる投資需要が増加しています。

① 金の需要

- 金の需要は、宝飾需要、投資需要、公的需要、工業用需要の4つに分けられ、2019年末時点では、宝飾需要が全体の約半数を占めました。

(2019年末時点)



・上記は、四捨五入しているため合計が100%にならない場合があります。

(出所)World Gold Councilの「Gold Demand Trends Q2 2020」のデータを基に三菱UFJ国際投信作成

② 公的需要とは

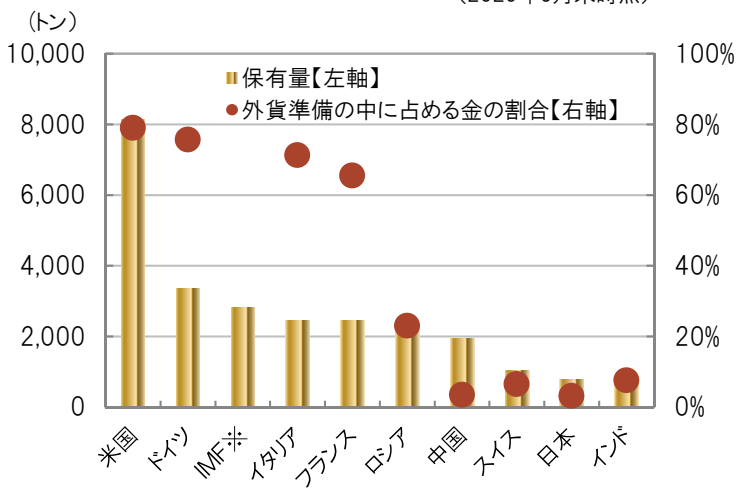
- 公的需要とは、各国の中央銀行等による金の需要のことをいいます。金は米ドルの代替資産として外貨準備高の一部とみなされ金融システムの強靭性を高めることにも繋がることから、各国の中央銀行は金を購入しています。

③ 足下、ETFなどによる投資需要が増えている理由

- 足下の2020年2Qは、ETFなどによる投資需要が増えました。
- 世界的に新型コロナのワクチン開発が急ピッチで進められているものの、明確な収束時期はまだ見通せない状況です。また、経済大国であり軍事大国でもある米中両国の対立激化が金融市場の変動要因となることなどから、こうした状況下において、中長期的に金をポートフォリオに組み込み全体のリスク逓減を図ることは、合理的な投資行動であると考えられます。そうした動きが世界的にさらに広がっていくと予想して、短期的な値上がり益を追求する資金が金先物取引やETFに流入していると思われます。今後、このような資金の動きにより短期的に金価格の値動きが激しくなることも想定されますが、中長期的な金への投資意欲は引き続き旺盛であると考えられます。

各国の金保有量と外貨準備の中に占める金比率

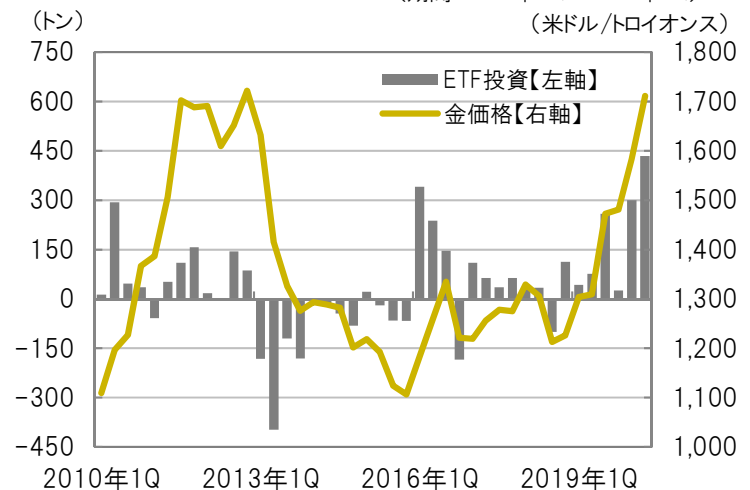
(2020年6月末時点)



・IMF:国際通貨基金

ETF投資と金価格の推移

(期間:2010年1Q~2020年2Q)



(出所)World Gold Councilの「Gold Demand Trends Q2 2020」のデータを基に三菱UFJ国際投信作成

・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

三菱UFJ 純金ファンド 〈愛称: ファインゴールド〉

Q4

金には、分散投資の効果が期待できますか。

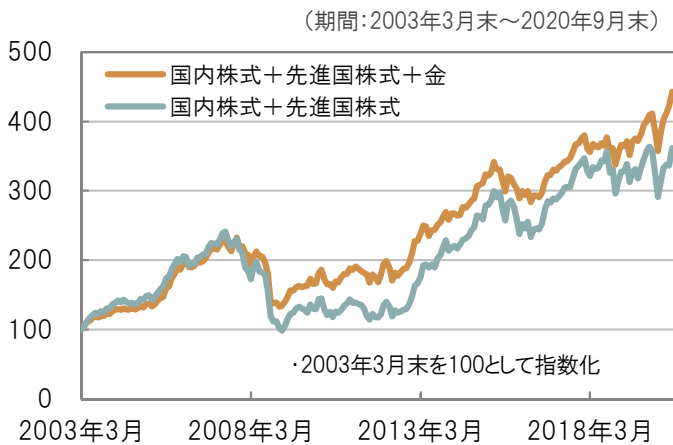
A4

金は、株式や債券などの資産とは異なる値動きをするため、分散投資の手段として期待されます。

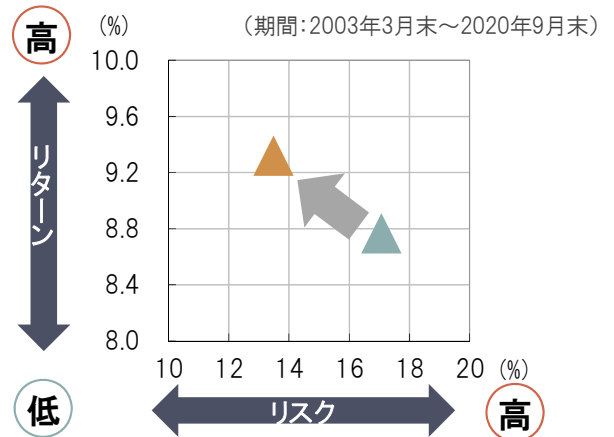
- 金は他資産とは異なる値動きをすることから、他資産との分散投資に適しています。
- 実際に、金の保有の有無で過去のデータを基にシミュレーションしたものが下記の(図1)～(図4)です。(図1)、(図2)は長期でのシミュレーション、(図3)、(図4)は年初来の短期でのシミュレーションですが、いずれの場合も株式だけを保有する場合と比べて金を組み合わせて持った場合の方が、パフォーマンスと投資効率が向上したことがわかります。

長期のシミュレーション

(図1)金の有無で試算したシミュレーション(円ベース)

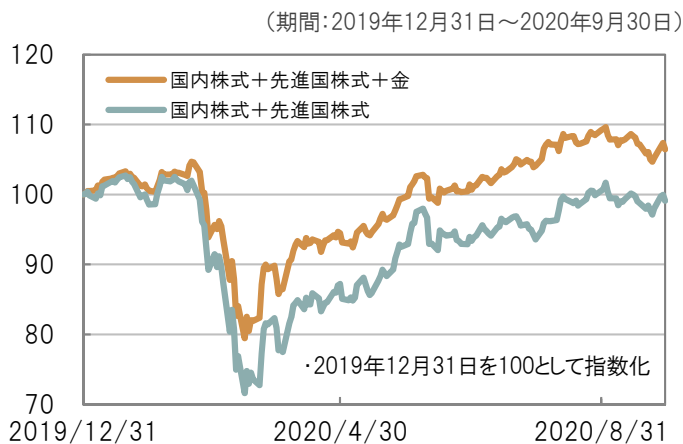


(図2)リスクリターンの変化

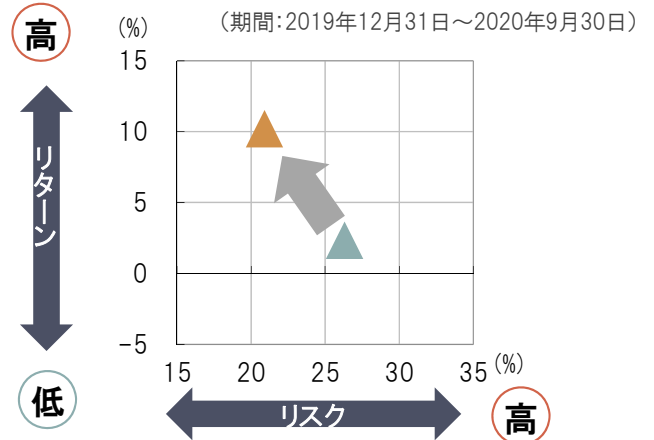


年初来のシミュレーション

(図3)金の有無で試算したシミュレーション(円ベース)



(図4)リスクリターンの変化(年率換算)



(出所)Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

上記のデータは国内株式、先進国株式に均等投資し(図1)、(図2)は各月末で、(図3)、(図4)は日次でリバランスした場合のパフォーマンスと、それに金(円ベース)を加えた3資産を同じく均等に投資し(図1)、(図2)は各月末で、(図3)、(図4)は日次でリバランスした場合のパフォーマンスを比較したシミュレーションです。

・上記はシミュレーションであり、実際の運用とは異なります。したがって、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりません。・上記では、金はスポット価格、金を除く各資産は指数(トータルリターン)を使用しています。指数については【本資料で使用している指数について】をご覧ください。・リスクは日次騰落率の標準偏差を、リターンは日次騰落率の平均をそれぞれ年率換算したものです。・計測期間が異なる場合は結果も異なることにご注意ください。

三菱UFJ 純金ファンド 〈愛称:ファインゴールド〉

Q5

金を現物で保有する場合と当ファンドで保有する場合との違いを教えてください。

A5

下記の一覧表をご覧ください。

(ご参考)金を現物で保有する場合と当ファンドで保有する場合との違い

金を現物で保有する場合	項目	当ファンド
<ul style="list-style-type: none"> ● 小売価格と買取価格が提示されており、買うときは小売価格、換金するときは買取価格が適用(買取価格は小売価格より低く設定されている) ● 購入量に応じた手数料が発生、小口ほど割高になる傾向 	購入コスト	<ul style="list-style-type: none"> ● 購入時手数料が発生する場合あり
<ul style="list-style-type: none"> ● 貸金庫を契約する等厳重な保管が必要 	保管の手間	<ul style="list-style-type: none"> ● 特になし
<ul style="list-style-type: none"> ● 貸金庫等を契約する場合は、その費用等 ● 金庫から引出す際に費用が発生する場合あり 	保有コスト	<ul style="list-style-type: none"> ● 信託報酬等が発生
<ul style="list-style-type: none"> ● 無記名のため紛失・盗難は損失に直結 ● 業者の破綻により、保管方法によっては、保護されない場合もある 	紛失・盗難等のリスク	<ul style="list-style-type: none"> ● 受益者の権利は、販売会社で記録管理され紛失・盗難リスクは小さい ● 運用会社、販売会社、受託会社が破綻しても信託財産は保護される
<ul style="list-style-type: none"> ● 換金量に応じて手数料が発生する場合あり 	換金コスト	<ul style="list-style-type: none"> ● なし
<ul style="list-style-type: none"> ● 譲渡益は譲渡所得として、給与所得等と合計して総合課税 ※金地金を営利を目的として継続的に売買を繰り返していない場合 	税制の違い	<ul style="list-style-type: none"> ● 株式投資信託として扱われ、受益権の譲渡(解約・償還を含む)による譲渡所得等は申告分離課税の対象
<ul style="list-style-type: none"> ● 総合課税の税率は、課税所得金額によって異なる(15%~55%、住民税10%含む) 		<ul style="list-style-type: none"> ● 申告分離課税の税率は、合計20.315%(所得税15%、復興特別所得税として所得税額×2.1%、住民税5%)
<ul style="list-style-type: none"> ● 譲渡所得の特別控除50万円が利用可 ※譲渡益の合計額が50万円以下のときはその金額までしか控除不可 		<ul style="list-style-type: none"> ● 「NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)」の適用対象
<ul style="list-style-type: none"> ● 5年超保有の場合、譲渡所得×1/2が課税される譲渡所得の金額となる 		<ul style="list-style-type: none"> ● 確定申告することで、株式投資信託の損失は、3年間繰り越して、各年分の「株式等譲渡所得」から控除することが可能
<ul style="list-style-type: none"> ● その他の総合課税の譲渡益がある場合、売却損をその範囲内で控除可能。ただし、当該譲渡益以外の他の所得と損益通算する事は不可 		

(出所)各種資料を基に三菱UFJ国際投信作成

・税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税制の違いは一般的な情報を記載しており、税制についての詳細は税理士等にご確認ください。・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

三菱UFJ 純金ファンド 〈愛称:ファインゴールド〉

Q6

当ファンドは、金価格と連動していますか。

A6

当ファンドは純金上場信託(ETF)を主要投資対象としており、わが国の取引所における金価格を反映した値動きをめざしています。

- 当ファンドは、「純金上場信託(現物国内保管型)(愛称:「金の果実」)」を主要投資対象とします。
- 「金の果実」は、国内に保管される金の現物を裏付け資産としており、わが国の取引所における金価格を反映しています。
- 「金の果実」(銘柄コード:1540) は、東京証券取引所に上場されており、取引所のHPからリアルタイムで現在値を確認することが可能です。

設定来の当ファンドパフォーマンス推移

(期間:2011年2月7日(設定日)~2020年9月30日)



・基準価額は、1万口当たりであり、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。・信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。
 ・上記期間では分配金の支払いはありません。

・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。
 また、税金・手数料等を考慮していません。

【本資料で使用している指数について】

■ VIX指数

VIX指数(CBOE SPX VOLATILITY INDEX)とは、シカゴ・オプション取引所(CBOE)が米国の主要株価指数の1つであるS&P500株価指数のオプション取引の値動きをもとに算出・公表するものであり、将来の株式市場に対する投資家心理を示すものとして利用されています。

■ 国内株式:東証株価指数(TOPIX)

東証株価指数(TOPIX)とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す代表的な株価指数です。

■ 先進国株式:MSCI コクサインデックス

MSCI コクサインデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。

本資料中の指数等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、発行者および許諾者が指数等の正確性、完全性を保証するものではありません。各指数等に関する免責事項等については、委託会社のホームページ(<https://www.am.mufg.jp/other/disclaimer.html>)を合わせてご確認ください。

三菱UFJ 純金ファンド 〈愛称: ファインゴールド〉

追加型投信／国内／その他資産(商品)

ファンドの目的・特色

■ファンドの目的

わが国の取引所における金価格の値動きをとらえることをめざします。

■ファンドの特色

- ・「純金上場信託(現物国内保管型)」(愛称:「金の果実」)を主要投資対象とします。
- ・純金上場信託(現物国内保管型)(愛称:「金の果実」)への投資比率は原則として高位を維持します。
- ・純金上場信託(現物国内保管型)(愛称:「金の果実」)は国内に保管される金の現物を裏付け資産としており、わが国の取引所における金価格を反映します。わが国の取引所における金価格とは、大阪取引所における金1グラムあたりの先物価格をもとに現在価値として算出した理論価格をいい、ファンドの参考指標です。
- ・純金上場信託(現物国内保管型)(愛称:「金の果実」)とは、三菱商事が信託委託者として拠出した金の現物を、信託受託者である三菱UFJ信託銀行が信託財産として国内に保管した上で、当該信託財産を裏付けとして発行された受益証券発行信託の受益権を、2010年7月に東京証券取引所に上場したETF(上場信託)です。指標価格は大阪取引所における金1グラムあたりの先物価格をもとに現在価値として三菱UFJ信託銀行が算出した理論価格を使用しています。

■分配方針

- ・年1回の決算時(1月20日(休業日の場合は翌営業日))に分配金額を決定します。
- ・分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。(基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。)

将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

投資リスク

■基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。

ファンドは、特定の上場有価証券(「純金上場信託(現物国内保管型)」(愛称:「金の果実」)をいいます。)への投資に係るリスクを伴いますが、複数銘柄に分散する場合に比べ、分散投資効果が得られないことから、当該上場有価証券が受けるリスクの影響をほぼ直接に受けます。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

価格変動 リスク	一般に、金地金の指標価格は金の需給関係や為替、金利の変動など様々な要因により大きく変動します。また、組入上場有価証券は金地金の指標価格の変動等の影響を受けて変動します。このため、ファンドはその影響を受け、組入上場有価証券の価格の下落は基準価額の下落要因となります。
為替変動 リスク	ファンドは外貨建資産への投資は行いませんが、当該上場有価証券の裏付けとなる金地金の指標価格は一般的に為替相場の変動の影響を受けます。また、為替ヘッジは行いません。
流動性 リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。また、ファンドが組み入れている上場有価証券は、一般的に株式と比べ取引規模が小さく、取引量も少ないため、流動性リスクも高い傾向にあります。
信用 リスク	ファンドは、実質的に金地金のみを保有するため、信用リスクが基本的にありません。ただし、一部余資運用があり、信用リスクはその影響を受けますので、基準価額の変動要因となります。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

三菱UFJ 純金ファンド

〈愛称: ファインゴールド〉

追加型投信 / 国内 / その他資産 (商品)

投資リスク

■その他の留意点

- ・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
 - ・収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。
- 投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
- 収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。
- ・ファンドから金地金へ交換することはできません。また、ファンドで直接金地金を保有することはありません。
 - ・ファンドの組入上場有価証券の市場価格と金地金の指標価格は、組入上場有価証券における信託報酬等のコスト負担等により一致した推移となることをお約束するものではなく、ファンドにおいても信託報酬等のコスト負担等により基準価額が指標価格と一致した推移となることをお約束するものではありません。

手続・手数料等

■お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位 / 販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の基準価額 ※基準価額は1万口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
換金単位	販売会社が定める単位 / 販売会社にご確認ください。
換金価額	換金申込受付日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して4営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受付けたものを当日の申込分とします。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情(投資対象とするETFの売買停止等)があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消すことがあります。
信託期間	無期限(2011年2月7日設定)
繰上償還	投資対象とするETFが、上場したすべての金融商品取引所において上場廃止となった場合には、繰上償還となります。なお、受益権の口数が10億口を下回るようになった場合等には、信託期間を繰上げて償還となる場合があります。
決算日	毎年1月20日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年1回の決算時に分配金額を決定します。(分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。) 販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。個人受益者については、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となる場合があります。くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

三菱UFJ 純金ファンド (愛称: ファインゴールド)

追加型投信/国内/その他資産(商品)

手続・手数料等

■ファンドの費用

お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料 購入価額に対して、**上限1.1%(税抜1%)**(販売会社が定めます)
(購入される販売会社により異なります。くわしくは、販売会社にご確認ください。)

信託財産留保額 ありません。

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	当該ファンド	日々の純資産総額に対して、 年率0.55%(税抜年率0.5%) をかけた額
	投資対象とするETF	投資対象ETFの純資産総額に対して 年率0.44%(税抜年率0.4%)
	実質的な負担	当該ファンドの純資産総額に対して 年率0.99%程度(税抜年率0.9%程度) ※投資対象とするETFの信託(管理)報酬率を合わせた実質的な信託報酬率です。(2020年1月末現在) ※上記料率は今後変更となる場合があります。
その他の費用・手数料	監査法人に支払われるファンドの監査費用・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用・その他信託事務の処理にかかる諸費用等についてもファンドが負担します。 ※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。	

※運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。毎計算期間の6ヵ月終了時、毎決算時または償還時にファンドから支払われます。

※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。
なお、ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

本資料のご利用にあたっての注意事項等

●本資料は、三菱UFJ国際投信が作成した資料です。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。●本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。●本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。●本資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。●投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

●委託会社(ファンドの運用の指図等)

三菱UFJ国際投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号

加入協会: 一般社団法人 投資信託協会

一般社団法人 日本投資顧問業協会

<ホームページアドレス> <https://www.am.mufig.jp/>

<お客さま専用フリーダイヤル> 0120-151034

(受付時間 営業日の9:00~17:00)

●受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)

三菱UFJ信託銀行株式会社

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

販売会社情報一覧表

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は下記の販売会社まで

ファンド名称: 三菱UFJ 純金ファンド

商号	登録番号等		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
株式会社愛知銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第12号	○			
株式会社秋田銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第2号	○			
株式会社イオン銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第633号	○			
池田泉州TT証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第370号	○			
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○		○	
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
株式会社大分銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第1号	○			
岡崎信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第30号	○			
岡三オンライン証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
株式会社きらやか銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第15号	○			
株式会社高知銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第8号	○			
株式会社静岡銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第5号	○		○	
七十七証券株式会社	金融商品取引業者	東北財務局長(金商)第37号	○			
株式会社ジャパンネット銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第624号	○		○	
株式会社十八銀行(10月1日から「株式会社十八親和銀行」に社名変更いたします)	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第2号	○			
株式会社十六銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第7号	○		○	
十六TT証券株式会社(ラップ専用)	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第188号	○			
株式会社荘内銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第6号	○			
株式会社親和銀行(10月1日から「株式会社十八親和銀行」に社名変更いたします)	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第3号	○			
株式会社大光銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第61号	○			
ちばぎん証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第114号	○			
中銀証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第6号	○			
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	○		○	○
とうほう証券株式会社	金融商品取引業者	東北財務局長(金商)第36号	○			
株式会社栃木銀行(インターネット専用)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第57号	○			
株式会社鳥取銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第3号	○			
株式会社名古屋銀行(インターネット専用)	登録金融機関	東海財務局長(登金)第19号	○			
株式会社南都銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第15号	○			
株式会社百五銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第10号	○		○	
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第152号	○			
株式会社福井銀行	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第2号	○		○	
株式会社福岡銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第7号	○		○	
株式会社北都銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第10号	○			
ほくほくTT証券株式会社	金融商品取引業者	北陸財務局長(金商)第24号	○			
株式会社北洋銀行	登録金融機関	北海道財務局長(登金)第3号	○		○	
北洋証券株式会社	金融商品取引業者	北海道財務局長(金商)第1号	○			
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第164号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	
株式会社三重銀行(インターネット専用)	登録金融機関	東海財務局長(登金)第11号	○			
株式会社みちのく銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第11号	○			
株式会社三菱UFJ銀行(インターネット専用)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第33号	○	○	○	
株式会社宮崎銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第5号	○			
株式会社武蔵野銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第38号	○			
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
ワイエム証券株式会社(ラップ専用)	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第8号	○			

・商号欄に*の表示がある場合は取次販売会社です。・商号欄に(※)の表示がある場合は新規申込のお取扱いを中止しております。